

理学研究科 物質・生物機能科学専攻

【中学校専修免許状（理科） 高等学校専修免許状（理科）】

①教員養成の目標

本専攻は実験系の専攻であり、論理的に問題を解決する能力を養っている。この力を元に実験経験、論理的思考を教育に反映させる。大学院で学んだ最先端の専門知識を教育実践に役立て、社会に還元することが目標である。

中学校専修（理科）

理科の基礎的な力を生徒に身につけさせる。また、理科を学ぶ上で理論的に考えるという基礎的な能力を生徒に養わせる。そのための教育実践技術を体得する。

高等学校専修（理科）

自ら考え、論理的に自然の現象を理解する態度を生徒に身につけさせる。そのための教育実践技術を体得する。

②当該目標を達成するための計画

生徒に論理的思考の基礎を教えるためには、まず、自らが論理的な深い思考を身につける必要がある。そのためには、大学院での多くの実験、特別研究、演習を積み重ねることが肝要である。これらは各研究室での実践により修得できる。これに加えて、物質機能科学Ⅰ～Ⅴ、物質情報科学、生体分子科学、分子細胞科学Ⅰ～Ⅳ、分子生理科学Ⅰ、Ⅱ、生体制御科学Ⅰ～Ⅲ等の充実した講義科目を履修し、科学的に考えるための基礎となる知識を身につける。さらに、外部からの講師による高度に専門的な内容を反復的に学べる物質・生物機能科学特別講義Ⅰ、Ⅱ（反復履修可能）を通じて、最先端の科学をも理解できる素養を育成する。